

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[42]歳、 勤続年数[24]年、 現場経験年数[18] 年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[36]歳、 勤続年数[16]年、 現場経験年数[16]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[49]歳、 勤続年数[31]年、 現場経験年数[29]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [車長]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	当事者 D・・・医師

1 1 . 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A・B・Cは	傷病者を医師に引き継ぐ	
経過 2	Dは	傷病者の後頭部縫合術を開始する	
経過 3	Aによる	縫合術介助中の、右手中指末節部に縫合針が刺さる	
経過 4	AはDに	縫合針が刺さった旨を報告し、血液の押し出し、傷口の洗浄・消毒をする	
経過 5	Aは	H b s 抗原、H b s 抗体、H C V 抗体等の血液検査を実施する	
経過 6	Aは	2 回目の血液検査を実施し、「異常なし」となる	
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。その他：術式の知識不足

- ## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	
・暑かった（寒かった）。	
・野次馬が多かった。	
・現場周辺の地理に不案内だった。	

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	
・足元の強度が不足していた。	

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	
・指示内容に誤り・偏りがあった。	
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	

k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	
・隊員が不足していた。	

○ その他

l . その他の理由があった。

はい：介助を通し隊員による救急活動への理解を、医師に対して高めてもらおうと思った
--

【事故発生後の取り組みについて】

.....

- 注意力欠如、焦り等の対策について

- 装備・資機材の対策について

- 活動環境の対策について

- 指揮・情報伝達の対策について